
共催セミナーのご案内

【共催セミナー 1】 オンラインライブ配信

11月20日（金）12:00～12:50 会場：第1会場

タイトル：小児ホジキンリンパ腫 up to date ～晩期合併症軽減に向けた取り組み～

Pediatric Hodgkin Lymphoma Up To Date ～ Approach to reducing late toxicity ～

座 長：三井 哲夫（山形大学医学部附属病院 小児科）

演 者：古賀 友紀（九州大学大学院医学研究院 周産期・小児医療学講座）

共 催：武田薬品工業株式会社

【共催セミナー 2】 オンラインライブ配信

11月20日（金）12:00～12:50 会場：第2会場

タイトル：愛知県における TREC/KREC 測定による原発性免疫不全新生児オプションスクリーニング

Optional newborn screening for primary immunodeficiency using TREC / KREC assay in Aichi Prefecture

座 長：森尾 友宏（東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 発生発達病態学分野）

演 者：村松 秀城（名古屋大学大学院 医学系研究科 小児科学）

共 催：日本製薬株式会社

【共催セミナー 3】 オンラインライブ配信

11月20日（金）13:30～14:20 会場：第1会場

タイトル：肝 SOS / VOD の診断と治療

Diagnosis and Treatment of Hepatic Sinusoidal obstruction syndrome (Veno-occlusive disease)

座 長：井上 雅美（大阪母子医療センター 血液・腫瘍科）

演 者：菊田 敦（福島県立医科大学 小児腫瘍内科）

共 催：日本新薬株式会社

【共催セミナー 4】 オンラインライブ配信・オンデマンド配信

11月20日（金）13:30～14:20 会場：第2会場

タイトル：小児期のライフステージに合わせた製剤選択

Individualized hemophilia treatment according to the childhood life stage

座 長：遠藤 幹也（岩手医科大学 医学研究科 小児科学）

演 者：日野 もえ子（千葉大学大学院 医学研究院 小児病態学）

共 催：バイエル薬品株式会社

【共催セミナー5】 オンラインライブ配信

11月20日（金）18:00～18:50 会場：第2会場

タイトル：QOL向上を意識した血友病治療

Hemophilia treatment for QOL improvement

座長：湯坐 有希（東京都立小児総合医療センター 血液・腫瘍科）

演者：小倉 妙美（静岡県立こども病院 血液腫瘍科）

共催：CSL ベーリング株式会社

【共催セミナー6】 オンラインライブ配信

11月21日（土）11:00～11:50 会場：第2会場

タイトル：後天性血友病A：見落としとしてはいけない致命的病態—その正確な診断と治療を考察する—

Acquired hemophilia A; fatal condition to keep in mind — Discussion on accurate diagnosis and treatment —

座長：今泉 益栄（宮城県立こども病院）

演者：家子 正裕（岩手県立中部病院 臨床検査科・血液内科）

共催：一般社団法人日本血液製剤機構

【共催セミナー7】 オンラインライブ配信

11月21日（土）12:00～12:50 会場：第1会場

タイトル：小児・AYA世代における再発・難治急性リンパ性白血病の治療戦略
～最新治療と今後の展開～

Advances in the Treatment of Relapsed / Refractory Acute Lymphoblastic Leukemia in Children,
Adolescent and Young Adult (AYA)

座長：今村 俊彦（京都府立医科大学大学院 医学研究科 小児科学）

演者：望月 慎史（広島大学病院 小児科）

共催：アステラス製薬株式会社 / アムジェン株式会社

【共催セミナー8】 オンラインライブ配信

11月21日（土）12:00～12:50 会場：第2会場

タイトル：小児血友病治療目標 ～ゼロブリーディング達成の意義とその先にある治療ゴール～

Treatment Goals for Pediatric Hemophilia

座長：瀧 正志（聖マリアンナ医科大学 小児科学）

演者：佐藤 篤（宮城県立こども病院 血液腫瘍科）

共催：中外製薬株式会社

【共催セミナー 9】 オンラインライブ配信

11月21日（土）15:00～15:50 会場：第2会場

タイトル：小児ALCLの病態とアレクチニブを用いた新規治療

Clinical features of pediatric ALCL and new treatment strategy with alectinib

座長：森鉄也（聖マリアンナ医科大学病院 小児科）

演者：深野玲司（山口大学医学部附属病院 小児科）

共催：中外製薬株式会社

【共催セミナー 10】 オンラインライブ配信

11月21日（土）17:00～17:50 会場：第1会場

タイトル：これからの血液凝固因子製剤の役割と個別化治療について

Future role of factor replacement therapy and personalized treatment

座長：大賀正一（九州大学大学院 医学研究院 成長発達医学分野（小児科学））

演者：長江千愛（聖マリアンナ医科大学 小児科）

共催：武田薬品工業株式会社

【共催セミナー 11】 オンラインライブ配信

11月20日（金）16:30～17:20 会場：第2会場

タイトル：小児ALL治療の今後の方向性とCART療法の位置づけ

Future Directions and Positioning of CAR-T Cell Therapy in Children and Young Adults with B-ALL

座長：岡本康裕（鹿児島大学 医歯学総合研究科 小児科学分野）

演者：康勝好（埼玉県立小児医療センター 血液・腫瘍科）

共催：ノバルティスファーマ株式会社

【共催セミナー 12】 オンラインライブ配信

11月22日（日）12:00～12:50 会場：第2会場

タイトル：小児血友病A診療におけるrFVIII Fcの役割

Role of rFVIII Fc in pediatric hemophilia A treatment

座長：酒井道生（宗像水光会総合病院 小児科）

演者：野上恵嗣（奈良県立医科大学 小児科学教室）

共催：サノフィ株式会社

【共催セミナー 13】 オンデマンド配信

タイトル：小児腫瘍に対する吸収性スペーサ留置を併用した粒子線治療の新展開

New Paradigm of Particle Therapy Combined with Bioabsorbable Spacer Placement for Pediatric Malignant Tumors

座 長：佐々木 良平（神戸大学大学院医学研究科 放射線腫瘍学分野）

演 者：亀井 美智（名古屋市立大学大学院医学研究科 新生児・小児医学分野）

小児腫瘍に対するスペーサ留置併用陽子線治療への期待—小児科医の立場から—

Pediatrician perspectives on proton beam therapy with spacer placement for pediatric malignant tumors

演 者：出水 祐介（兵庫県立粒子線医療センター附属神戸陽子線センター）

小児陽子線治療における吸収性スペーサー留置の有用性

Usefulness of Bioabsorbable Spacer Placement in Proton Beam Therapy for Pediatric Malignancies

共 催：アルフレッサファーマ株式会社

【共催セミナー 14】 オンデマンド配信

タイトル：小児慢性疾患の診療におけるトランジションの重要性：成長障害と血友病から学ぶ

Importance of transitions in medical care of pediatric chronic diseases: learning from growth disorders and haemophilia

演 者：難波 範行（鳥取大学 医学部 周産期・小児医学分野）

CCS 児のトランジション

Transition of survivors of childhood cancers

演 者：山之内 純（愛媛大学 医学部附属病院 輸血・細胞治療部）

血友病の包括的医療と連携体制について

Comprehensive care for haemophilia and medical cooperation system

共 催：ノボノルディスクファーマ株式会社 開発本部 メディカルアフェアーズ部

【共催セミナー 15】 オンデマンド配信

タイトル：「あれ？注射痛くない!!」の経験が小児医療にもたらすもの

“Hey! The needle doesn't hurt!” What this experience brings to pediatric medicine

座 長：田尻 達郎（京都府立医科大学大学院 医学研究科 小児外科）

演 者：森 麻希子（埼玉県立小児医療センター 血液・腫瘍科）

“疼痛緩和が当たり前”の小児医療を目指して

To aim pediatric medicine where “pain relief is commonplace”

演 者：福地 麻貴子（埼玉県立小児医療センター 小児看護専門看護師）

穿刺による痛みの緩和～病棟や外来処置室での取り組み～

Relieving pain by puncture —initiatives in the ward and outpatient unit—

共 催：佐藤製薬株式会社